

visitgraz



ERLEBNISREGION GRAZ

グラーツの 観光名所

歴史的なグラーツと 現代のグラーツをめぐる街歩きコース



TOURISMUSINFORMATION REGION GRAZ

年中無休でお客様をお待ちしております。

- インフォメーション
- 土産物店とチケット販売
- 宿泊予約
- クーポン
- 市内観光&遊覧
- パンフレットご注文

Herrengasse 16, T +43/316/8075-0, F +15
info@graztourismus.at, www.graztourismus.at

Hauptplatz 市電1、3、4、5、6、7番でお越しいただけます。



市街から郊外まで 10 分間

グラーツを体験する地域は、都会のムードと南部の雰囲気兼ね備えたオーストリア唯一の味わいの都であり、自然、文化、そしてすべての方向に人気の観光スポットが数多くあります。

奥付: コンテンツ責任者: グラーツ地域観光協会グラーツ観光局。
コンセプトおよびデザイン: Pilz Werbeagentur GmbH. 写真: Tom Lamm, Harry Schiffer, Hans Wiesenhofer, Toni Muhr, Werner Krug, J. J. Kucek, Paul Stajan, Gerald Plattner, Andreas Hofer, Schell Collection, iStock. 本文: *グラーツ観光局印刷: Klampfer Austria-Export-Prospekt. すべての情報と価格には、誤植および印刷上の誤りが発生する可能性があります。(2023, jap.)



お客様には街歩きにどのくらい のお時間がありますか？

グラーツで最も美しく興味深い名所を巡る 3 つの厳選された街歩きのコース。

このパンフレットは、歴史のあるグラーツ、同時にまた現代のグラーツを、お客様が簡単かつ楽しい方法で探索できるようにすることを目的としております。私たちは、テーマの異なる 3 つの街歩きコースをご用意いたしました。もちろん、3 つの街歩きコースすべてをご自由に組み合わせることができます。さらに、市街中心部から少し離れたところにある、ご覧いただくに値する目的地をご提案しております。

シーズン限定の営業時間にご注意ください！

グラーツ旧市街ツアー	ページ 4
歴史的と現代的: ムーア川、行ったり来たり	ページ 18
街の屋根の上で	ページ 28
ご覧いただくに値する目的地 市中心部から外れて	ページ 40

市内ツアー

グラーツ地方観光案内所では、ご気分に合わせて様々なテーマのガイド付き市内観光や周遊ツアー(ドイツ語および英語)をご予約いただけます！

インフォメーション & ご予約:

グラーツ地方観光案内所 (Tourismusinformation Region Graz)
Herrengasse 16, 8010 Graz
電話 +43/316/8075-0, F オフィス 15
info@graztourismus.at, graztourismus.at

お話をさせていただく前に: 市の歴史をほんの少し。

グラーツのクイックモーション: 帝都、ルネッサンスの至宝、学問の街、(近代)建築、文化首都...

900 年以上の生き生きとした歴史を持つオーストリア第 2 の大都市: この街の波瀾に富んだ過去についての多くの証言、現在を物語る多くの資料、そして未来へのビジョン、これらを街歩きコースで発見していただけることでしょう。世界でも他にないのは、中世から 21 世紀まで、あらゆる建築様式の優れた建築物が、これほど密集した空間に存在することです。これによってグラーツの旧市街は、1999 年、ユネスコ世界遺産に登録されました。

- 1128/29: 「gradec」(小さな城)として初めて文献に記載される
- 1230: 都市への昇格と壁で囲う
- 1379: 内オーストリア首都
- 1440-93: フリートリヒ三世統治下の帝室
- 1564: オーストリア大公カール二世統治下の帝室都市
- 1585: 大学創設
- 1594-99: ヨハネス・ケプラーがグラーツ滞在
- 1809: フランス軍による包囲、強制的な要塞の解体。グラーツ市民による時計塔と鐘楼の買取り
- 1945: 全住居の 15 %が空襲で破壊
- 1958: 「フォーラム市立公園」設立
- 1963: グラーツ芸術大学創設
- 1968: 「シュタイアーマルクの秋」設立
- 1985: 「シュティリアルテ(音楽祭)」設立
- 1999: ユネスコ世界遺産登録
- 2003: 欧州文化首都
- 2008: 味わいの都に指定
- 2010: ユネスコ世界遺産区域の拡張: エッゲンベルク城
- 2011: City of Design 認定
- 2020: グラーツ文化年 2020 - 文化は都市の未来を創造する



グラーツの見所

以下の3つの街歩きコースでは、グラーツの多くの観光スポットを快適に探索できます。お客様に、ハイライトを特別にマークしてご提示いたしました：

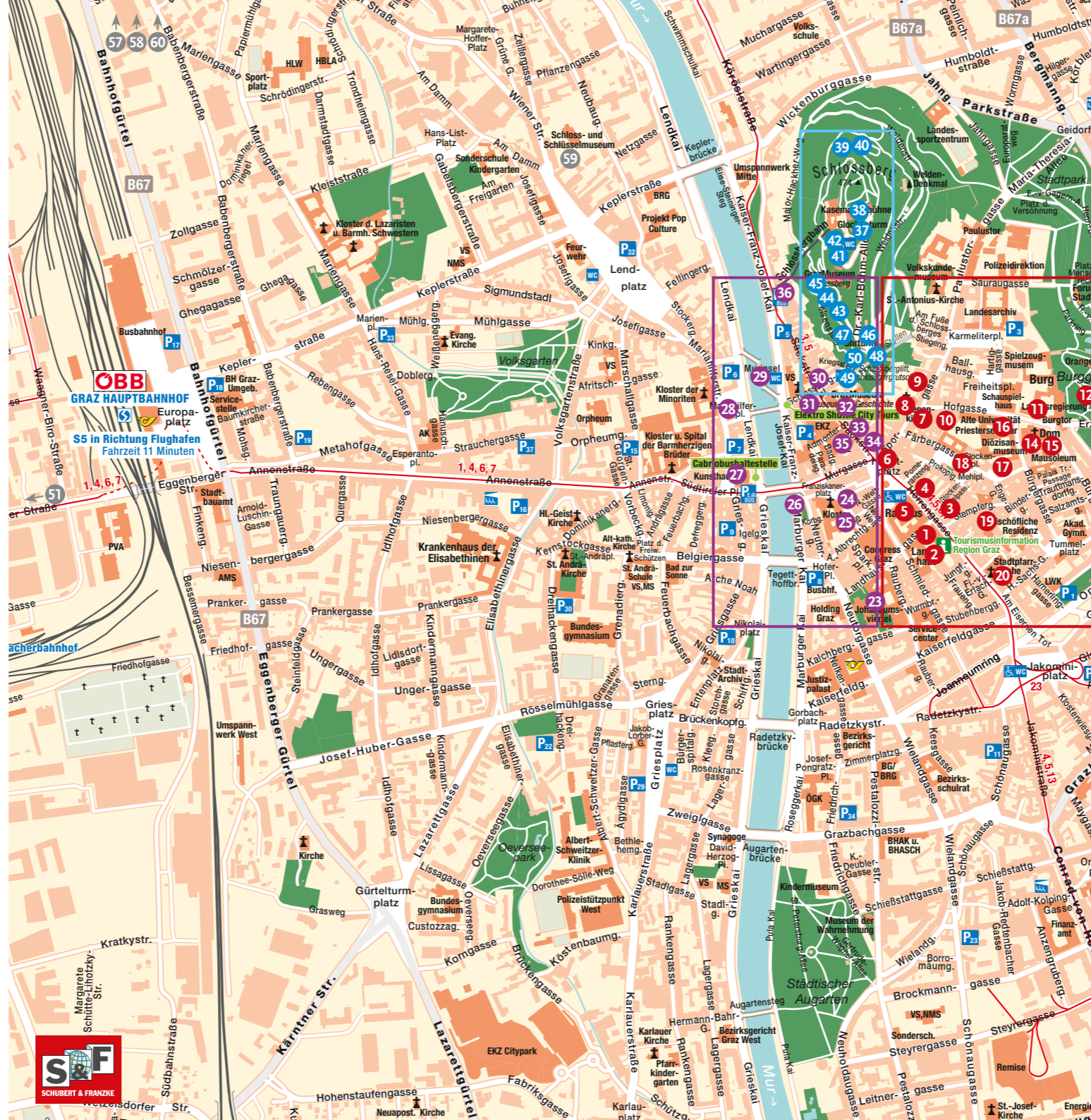
A グラーツ旧市街ツアー：観光スポット 1 ~ 22 を掲載している拡大地図は、4 ページでご覧いただけます。

B グラーツの歴史と現代：観光スポット 23 ~ 36 を掲載している拡大地図は、16 ページでご覧いただけます。

C グラーツの屋根の上へ：観光スポット 37 ~ 50 を掲載している拡大地図は、27 ページでご覧いただけます。

他のツアーへの各接続箇所は、拡大図に **A B C** をつけております。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1 州庁舎(ラントハウスホフ) | 28 マリアヒルファー(聖母救済)広場 |
| 2 武器庫(ツオイクハウス) | 29 ムーアインゼル |
| 3 ゲネラルホフ | 30 シュロスベルク広場 |
| 4 ゲマルテスハウス/
ヘルツォークホフ | 31 アッテムス宮殿 |
| 5 ハウプト広場/市庁舎 | 32 グラーツ市立博物館 |
| 6 リュックハウス | 33 歴史(宮廷)博物館 |
| 7 ドイツ騎士団の家 | 34 ザック通り |
| 8 シュティーゲン教会 | 35 Kastner & Öhler |
| 9 ザウラウ宮殿 | 36 シュロスベルクケーブルカー |
| 10 ホフベッカライ・エデッガーター
ックス | 37 鐘楼 |
| 11 王宮/二重螺旋階段 | 38 カゼマッテンピューネ |
| 12 王宮庭園 | 39 ゴシック門 |
| 13 市立公園 | 40 ハッカーライオン |
| 14 大聖堂 | 41 グラーツ博物館シュロスベルク |
| 15 霊廟(マウソレウム) | 42 カノーネンホール |
| 16 神学校 | 43 中国パビリオン |
| 17 グロツケンシュピール | 44 トルコの井戸 |
| 18 バミュエダトライアングル | 45 シュタルケハウス |
| 19 シュテンプファーガッセ | 46 時計塔 |
| 20 市教区教会 | 47 旧市街への帰り道/
フェルゼンシュタイク |
| 21 グラーツ歌劇場 | 48 ヘーバーシュタイン庭園 |
| 22 カイザーヨーゼフ市場 | 49 山中トンネルシステム |
| 23 ヨハネウム地区 | 50 シュロスベルク滑り台 |
| 24 フランツィスカーナ地区 | 51 エッゲンベルク城 |
| 25 フランシスコ会教会&修道院 | 52 マリアトロスト・バシリカ教会 |
| 26 ムーア・プロムナード | 53 グラーツの大学 |
| 27 グラーツクンストハウス | 54 植物園 |
| 数値、データ、事実 | 55 ヒルムタイヒ(公園)/レーヒヴァ |
| 人口:約 30 万人 | 56 ルト(公園) |
| 面積:127.6 km ² | 57 レーヒ教会 |
| 標高:353 m | 58 ゲシュティンク城址 |
| | 59 カルヴァリエンベルク |
| | 60 シェルコレクション |
| | Nova-Air |





Karl-Franzens-Universität
Physik-Institut
ReSoWi-Zentrum
Bibliothek
Aula
Anatom.-Institut
Chem.-Institut
Mensa
OH
Sonnenfelsplatz
Leechgasse
Beethovenstr.

Leopoldsdorf
Leopoldsdorfer Platz
Leopoldsdorfer Gasse
Leopoldsdorfer Allee
Leopoldsdorfer Straße
Leopoldsdorfer Ring
Leopoldsdorfer Platz

St. Pölten
St. Pölten Hauptplatz
St. Pölten Hauptgasse
St. Pölten Hauptstraße
St. Pölten Hauptring
St. Pölten Hauptplatz

St. Leonhard
St. Leonhard Hauptplatz
St. Leonhard Hauptgasse
St. Leonhard Hauptstraße
St. Leonhard Hauptring
St. Leonhard Hauptplatz

St. Michael
St. Michael Hauptplatz
St. Michael Hauptgasse
St. Michael Hauptstraße
St. Michael Hauptring
St. Michael Hauptplatz

St. Nikolaus
St. Nikolaus Hauptplatz
St. Nikolaus Hauptgasse
St. Nikolaus Hauptstraße
St. Nikolaus Hauptring
St. Nikolaus Hauptplatz

St. Martin
St. Martin Hauptplatz
St. Martin Hauptgasse
St. Martin Hauptstraße
St. Martin Hauptring
St. Martin Hauptplatz

St. Peter
St. Peter Hauptplatz
St. Peter Hauptgasse
St. Peter Hauptstraße
St. Peter Hauptring
St. Peter Hauptplatz

St. Paul
St. Paul Hauptplatz
St. Paul Hauptgasse
St. Paul Hauptstraße
St. Paul Hauptring
St. Paul Hauptplatz

St. Johannes
St. Johannes Hauptplatz
St. Johannes Hauptgasse
St. Johannes Hauptstraße
St. Johannes Hauptring
St. Johannes Hauptplatz

St. Elisabeth
St. Elisabeth Hauptplatz
St. Elisabeth Hauptgasse
St. Elisabeth Hauptstraße
St. Elisabeth Hauptring
St. Elisabeth Hauptplatz

St. Anna
St. Anna Hauptplatz
St. Anna Hauptgasse
St. Anna Hauptstraße
St. Anna Hauptring
St. Anna Hauptplatz

St. Barbara
St. Barbara Hauptplatz
St. Barbara Hauptgasse
St. Barbara Hauptstraße
St. Barbara Hauptring
St. Barbara Hauptplatz

St. Margareta
St. Margareta Hauptplatz
St. Margareta Hauptgasse
St. Margareta Hauptstraße
St. Margareta Hauptring
St. Margareta Hauptplatz

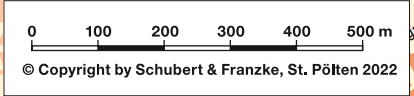
St. Katharina
St. Katharina Hauptplatz
St. Katharina Hauptgasse
St. Katharina Hauptstraße
St. Katharina Hauptring
St. Katharina Hauptplatz

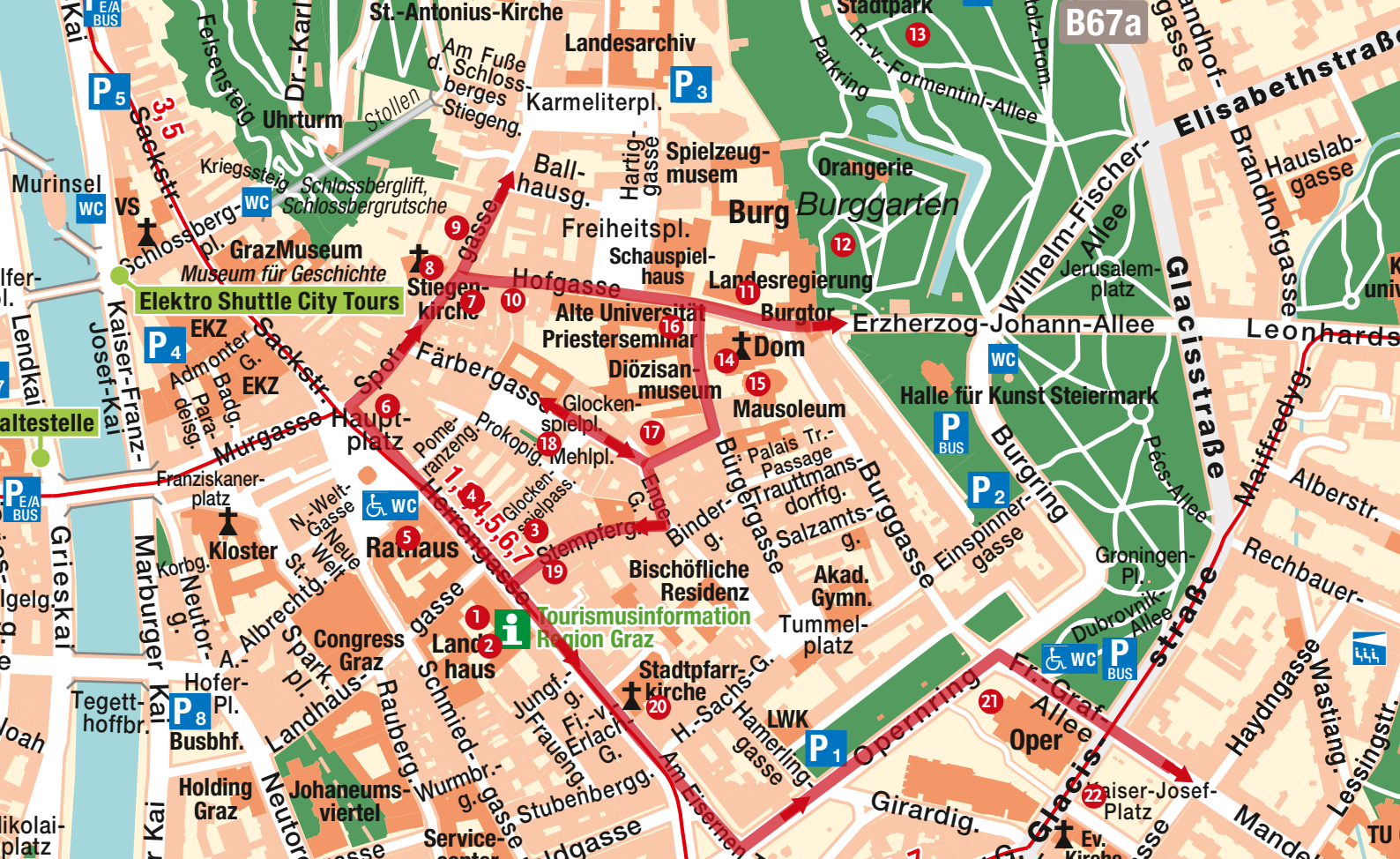
St. Agathe
St. Agathe Hauptplatz
St. Agathe Hauptgasse
St. Agathe Hauptstraße
St. Agathe Hauptring
St. Agathe Hauptplatz

St. Veronika
St. Veronika Hauptplatz
St. Veronika Hauptgasse
St. Veronika Hauptstraße
St. Veronika Hauptring
St. Veronika Hauptplatz

St. Ursula
St. Ursula Hauptplatz
St. Ursula Hauptgasse
St. Ursula Hauptstraße
St. Ursula Hauptring
St. Ursula Hauptplatz

GRAZ
(363 m)





グラーツ旧市街ツアー： 世界遺産めぐり

ユネスコ世界遺産に登録された印象的なグラーツの旧市街を、目を見開きながら散策しましょう。多彩な旧市街ツアーは、ヘレンガッセ 16 にあるグラーツ地方観光案内所からスタートいたします。

ただ散策をして、それで驚きの発見をなさってください。街角ごとに、新しい発見が待っています：隠れた路地、ロマンチックな中庭、華麗なファサード、そして過去数世紀に及ぶ貴族と市民の壮大な建築物。ハプスブルク王朝のゴシック、ルネサンス、バロック、歴史主義が、グラーツには共存しています。これらは、「中央ヨーロッパで最も保存状態の良い市街

地」を形成しています。- 1999 年、ユネスコ世界遺産に登録され、2010 年にはバロック様式のエツゲンベルク宮殿に拡大されました。

緑豊かなシュロスベルクとともに旧市街の濃密にたどる歴史的な雰囲気は、グラーツが「欧州文化首都 2003」として国際的に大きな反響を呼ぶための重要な基礎となりました。暖かい季節には、通りや広場、中庭がとても素敵な背景となって、話題のイベントも開催されます。魅力的な近代建築とクリエイティブな産業により、2011 年には「City of Design」の称号を得るに至りました。



グラーツ旧市街ツアー： 世界遺産めぐり

ヘレンガッセ 16 にあるグラーツ地方観光案内所をスタートして、ほんの数歩歩いただけで州庁舎の入り口に到着します。

ヘレンガッセは、グラーツの公共生活の中心地であり、 Hauptmarkt とヤコミニ広場の間に数多くの美しい宮殿や壮麗な建物があります。「州庁舎」、「リュークハウス」、「ゲマルテスハウス」、あるいは 1895 年以來市内中心部に拠点を置き、現在はヨーロッパ 13 か国で事業を展開しているグラーツ相互保険会社の宮殿などを鑑賞いただけます。脇道のあるヘレンガッセは、歩行者、自転車、トラムのための通りであり、街のショッピングマイルと言われています。

1 州庁舎 🏰

特にアーケードのある州庁舎の中庭は、イタリルネサンスの傑作(ドミニコ・デッラリオ)とみなされています。アーチ型の窓の後ろで、シュタイアーマルク州議会は、その会議室で会議を開きます。アドベントでは、有名な氷のキリスト降誕のシーンがここにぴったりのフレームになっています。その合間には、州庁舎の中庭の華やかな雰囲気の中で、コンサート、演劇、そしてあらゆる種類のフェスティバルが開催されます。

ヒント:2* 武器庫(ツォイクハウス) 🏰

州庁舎のすぐ隣には、かつては内オーストリアで最も重要な武器庫であったツォイクハウスがあり、現在では 30,000 点を超える展示品を備えた世界最大の歴史的武器コレクションの 1 つとなっています。(入り口: Herrengasse 16)

3 ゲネラルイホフ / 4 ゲマルテスハウス

グラーツは、ロマンチックな中庭で有名ですので、このツアーでは、そのいくつか、例えば、ゲネラルイホフ(入り口: Herrengasse 9) などをご覧ください。少し先には「ゲマルテスハウス」(7 番)があります。このファサードは、1742 年、バロック画家ヨハン・マイヤーによって描かれたフレスコ画で、ギリシャ・ローマ神話の神々を表しています。美しい中庭は「ヘルツォーグホフ」として知られています。



* 武器庫(ツォイクハウス) - 印象的な展示品の中には特別な宝物があります。世界に 7 つしかない完全に保存された馬の甲冑です。

グラーツ旧市街ツアー： 世界遺産めぐり

ヘレンガッセを歩き、居心地の良いゲスト庭園を通り過ぎると、わずか数分でグラーツの Hauptmarkt に到達です。

5 Hauptmarkt / 市庁舎

Hauptmarkt と市庁舎は、街の心臓部であり中心です。Hauptmarkt の中央には、1878 年に建てられたヨハン大公の噴水があり、「シュタイアーマルク公」ヨハン大公を偲ばせています。丸屋根、時計、小コーナー塔を備えた代表的な市庁舎は、19 世紀末以来グラーツの Hauptmarkt に君臨してきました。

6 リュックハウス

Hauptmarkt 周辺の壮麗なファサードの中でも、特にシュボルガッセの角にある「リュックハウス」は、豊麗なスタッコのファサードとアーケードが特徴的です。注意深く観察される方は、ファサードの果物と花輪の間に隠された口と鼻を見逃すことはないでしょう。

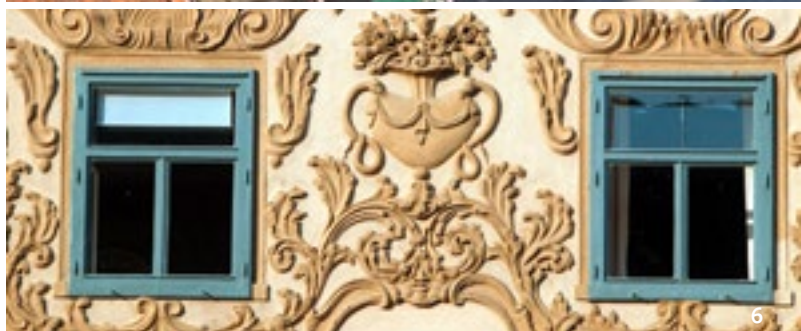
7 ドイツ騎士団の家

ゴシック様式のアーケードで覆われた中庭は、「ムーアノッカーレン」で覆われており、一見の価値があります。「ムーアノッカーレン」とは、グラーツでは、ムーア川の水力で丸められた石を、路地や中庭の舗装材として使用するためにつけられた名称です。基壇に騎士団の十字架が描かれた石造りの門は、16 世紀の第 1 四半期に建てられたものです（入り口：Sporgasse 22）。

ヒント:旧市街トラム (ALTSTADT BIM) - 市内中心部を無料でグラーツの旧市街では、無料でトラムにご乗車いただけます。正確に言いますと、ヤコミニ広場と Hauptmarkt の間で、これに加えて両方向に 1 駅、例えば、シュロスベルク広場 または クンストハウスまでご乗車いただけます。



5



6



5



7



グラーツからの土産品

ご友人やご親戚への贈り物をお探しですか
それとも、ご自分用にちょっとしたお土産を
グラーツでのご滞在の思い出にしたいとお考えでしょうか？

visitGRAZ-Shop

Herrengasse 16 / 入り口 武器庫

電話 +43/316/8075-0

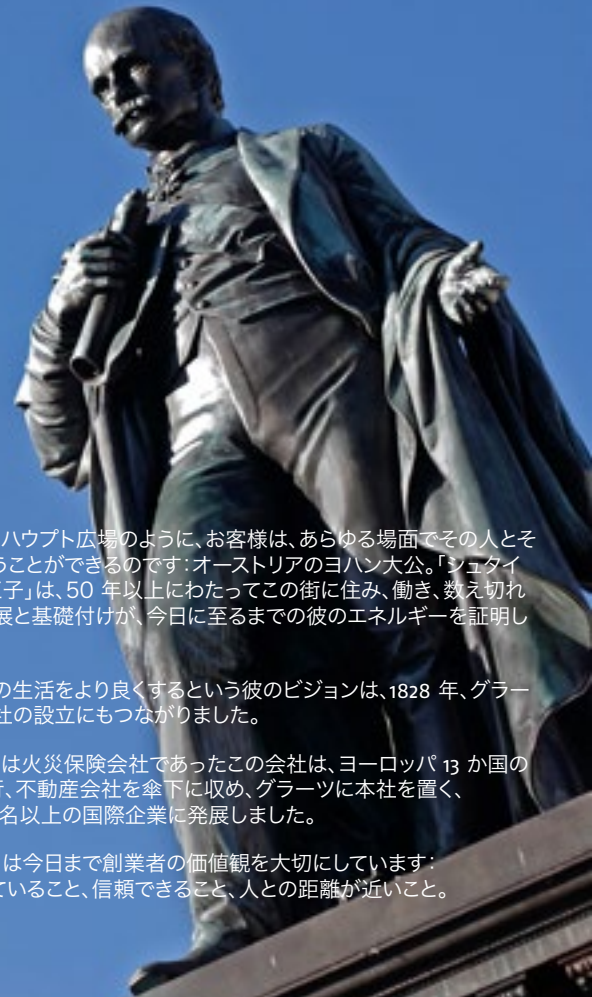
info@graztourismus.at

graztourismus.at

Shop
visitgraz



私たちの街を 変えた ビジョンについて。



ここグラーツのハウプト広場のように、お客様は、あらゆる場面でその人とその思想に出会うことができます。オーストリアのヨハン大公。「シュタイアーマルク王子」は、50年以上にわたってこの街に住み、働き、数え切れないほどの発展と基礎付けが、今日に至るまでの彼のエネルギーを証明しています。

特に一般庶民の生活をより良くするという彼のビジョンは、1828年、グラーツ相互保険会社の設立にもつながりました。

それ以来、当初は火災保険会社であったこの会社は、ヨーロッパ13か国の保険会社、銀行、不動産会社を傘下に収め、グラーツに本社を置き、従業員4,600名以上の国際企業に発展しました。

そして、GRAWEは今日まで創業者の価値観を大切にしています：
地に足がついていること、信頼できること、人との距離が近いこと。

grawe.at

オーストリアで一番お勧めの
保険です。

 **GRAWE**

毎年、オーストリアの保険会社と銀行の顧客8,000人に、会社を推薦する満足度／意欲をお尋ねする独自調査 (FMV Recommender Award) を行っており、GRAWEは10回目の2022年を楽しみにしております。全国保険会社で初の連続首位獲得。詳細：grawe.at/が一番お勧め。

グラーツ旧市街ツアー： 世界遺産めぐり

ハウプト広場から、今度は石畳のシュポールガッセという、この街で最もロマンチックな路地を通り、少し坂を上ります。

8 シュティーゲン教会 (画像なし)

グラーツ最古の教区教会は、1343年、初めて文献に記載されました。グラーツの歴史的な市内中心部にあるこの礼拝所は、特に学生教会として知られ、シュロスベルクの南側に位置し、旧アウグスティヌス修道院の巨大な壁の後ろに隠れています。

9 ザウラウ宮殿

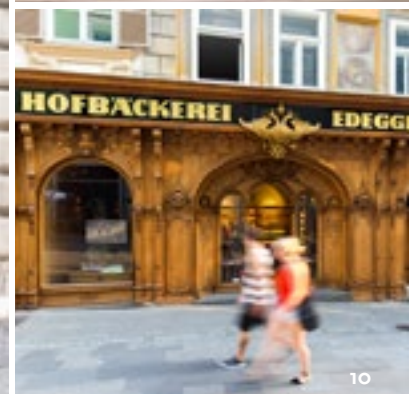
1566年、パンクラーツフォンヴィンディシグレーツは、現在もザウラウ宮殿として知られる、当時まだ存在していた中世の市壁の近くに、強大な4翼の宮殿を建設しました。上からの攻撃? 髭、ターバン、短剣を持った男が威嚇するように見下ろし、通行人の好奇心を刺激します。屋根の下にある伝説のトルコ戦士の姿は、この街で最も美しい建物のひとつを飾っているからです。(中庭にはお入りいただけません。)

ヒント:10 ホーフベッカライ・エデッガー-タックス

シュポールガッセを少し下り、左折してホーフガッセに入ります。そこでは、金色の双頭の鷲を冠した壮大な木製の店のポータルが目を引きまします: 帝国時代の美味しい焼き菓子が並ぶホーフベッカライ・エデッガー-タックスです。「シシブサレル」、「カイザーツヴィーバック」などを味わうことができます。

11* 王宮/二重らせん階段 🏰

ホーフガッセに沿って行くと、フライハイト広場と古典主義建築のシャウシュピールハウスに行き着きます。城門のすぐ手前に王宮への入り口(Hofgasse 15)があり、最初の中庭を抜けると、ゴシック時代末期の石工の傑作である二重らせん階段(1499年)があります(階段IIIの隣)。現在、この王宮はシュタイアーマルク州の州政府庁舎となっています。



* 二重らせん階段 - 3フロアの2つの階段の興味深い曲がり具合、絢余曲折、意外な出会い、分離と融合をご体験ください!

グラーツ旧市街ツアー： 世界遺産めぐり

城門を越えて、わずかに下り坂になっているビュルガーガッセに入ります。これは、「グラーツのクラシック」にも通じています。

ヒント:12 王宮庭園/ 13 市立公園

城門をくぐると、王宮庭園への入り口があり、さらに進むと市立公園があります。見物は、1873年にウィーンで開催された万国博覧会で取得された市立公園の噴水です。

14 大聖堂 🏰

皇帝フリードリヒ三世は、1438年から1464年にかけて、帝室教会としてこの大聖堂を建設させました。大聖堂の南側左側の小さな天蓋の下には、1480年の恐怖の年にシュタイアーマルク州を悩ませた3つの災厄（ペスト、トルコ人、イナゴ）を描いた災厄画があります。

15 霊廟(マウソレウム) 🏰

皇帝フェルディナント二世は — 内オーストリアの統治者としてまだここに居住しながら —、美術史的に最も重要なハプスブルク家の墓をグラーツに建てました。イタリアの宮廷画家、ジョヴァンニ・ピエトロ・デ・ボミスが計画を引き受けました。📌注意:季節による営業時間!

16 神学校

霊廟の斜め向かいには、イエズス会神学院(現在は神学校)のルネサンス様式の中庭が堂々としたファサードの後ろに隠れており、1585年に設立された「旧大学」(Hofgasse 14)が隣接しています。

ヒント:17 グロツケンシュピール 🏰

アブラハム・ア・サンタ・クララ・ガッセを経由して、グロツケンシュピール広場に到着します。11時、15時、18時には、2つの開き窓の扉が開き、カリヨンの音に合わせて木彫りの民族衣装のカップルが回転します。

18 メール広場およびフェーバー広場周辺

賑わっているゲストハウス、レストラン、カフェ、バーを見渡すと、美しいルネサンス建築と、その好対照として市の中心部にあるM1現代建築が目に入ってきます。夜型の人たちは、この地区を「グラーツバミュエダトライアングル」と呼んでいます。その理由は、何時間もここで「行方不明」のままの人もいるからです…



13



14



15



16



17



18

グラーツ旧市街ツアー： 世界遺産めぐり

メール広場およびフェーバー広場を經由して戻ると、エンゲ ガッセ經由で「エレガント」なシュテンプファーガッセにたどり着きます。もう(再び)お腹がすいて、喉も渇きませんか?ほんの数分でパウエルン市場です!

19 シュテンプファーガッセ (画像なし)

シュテンプファーガッセには、豪華なブティックや国際的なトップブランドが軒を連ね、数多くのショッピングハイライトがあります。ちなみにヨハネス・ケプラーはシュテンプファーガッセに住んでいたため、美しい中庭(6番)をご覧ください!では、ここで左に折れてヘレンガッセに進みます。

20 市教区教会

ヘレンガッセには、他のすべての建物よりも豪華なバロック様式の塔がそびえ立っています。それが教区教会です。その波乱に富んだ歴史は、放棄されたユダヤ人地区にある小さなゴシック様式の礼拝堂、ドミニコ会修道院の教会だった時期、バロック様式とネオゴシック様式への改築、そして第二次世界大戦の爆撃を物語っています。暗い時代を思い起こさせるのは、ステンドグラスにあるヒトラーとムッソリーニの姿です。

21 グラーツ歌劇場

ヘレンガッセを經由して、オーパンリンク經由でさらに左に進むと、グラーツ歌劇場に到着します。著名な建築家デュオ、ヘルマーとフェルナーの計画に従って 1899 年に建てられました。ここは、伝統と現代性が印象的に融合する場所です:ハルトムート・スカービッシュ作の鋼鉄の彫刻「ライトセーバー」は、開放性と寛容の象徴として歌劇場の前に立っており、エキサイティングなコントラストを形成しています。

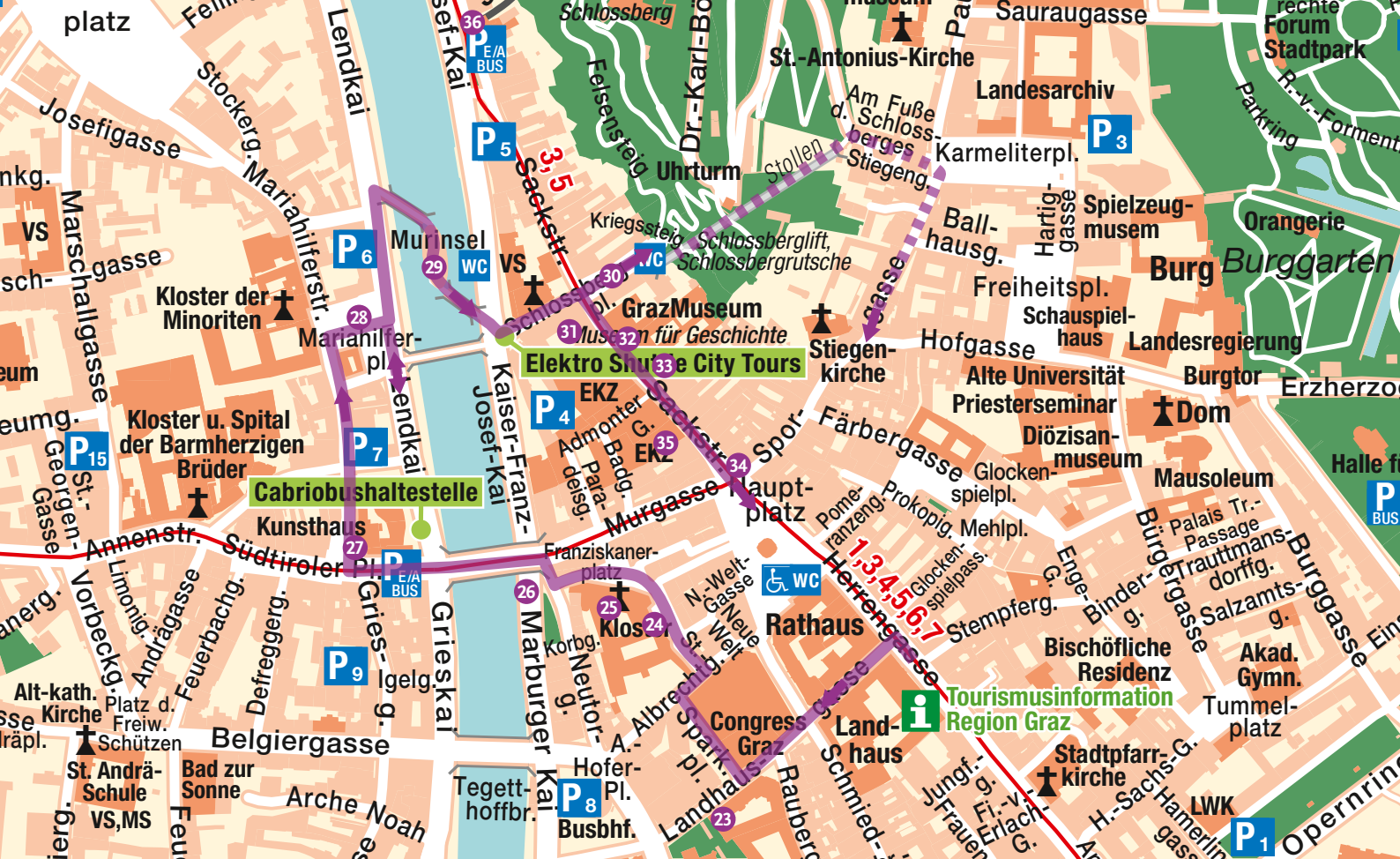
22 カイザーヨーゼフ市場

歌劇場裏のカイザー・ヨーゼフ・プラッツには、グラーツ最大のファーマーズ市場があります。地元の農家が自家製の農産物を持ち寄り、果物や野菜、草花、穀物油、パンその他の諸々を市住民に販売します。目でも舌でも楽しめる特別な体験。(月~土 6~13 時)

ヒント: お持ち帰りには、シュタイヤーマルクのパンプキンシードオイルを!

「シュタイヤーマルクの黒い黄金」と呼ばれるパンプキンシードオイルは、美味しく非常に健康的です。サラダに添えたり、料理を洗練したり、バニラアイスクリームに添えたり(その通りです!)。ファーマーズ市場からボトルを 1 本、お持ち帰りください。





歴史的と現代的： ムア川、行ったり来たり。

伝統的グラーツと現代的グラーツの印象的なコントラスト。「欧州文化首都」プロジェクトは、ここに最も顕著な痕跡を残しています。

一方の(川)側：一日中涼しい日陰を作る狭い路地、小さな店、さまざまな香りの混ざり合い、陽光が降り注ぐ広場、路上カフェでのカラフルな声の喧騒、あらゆる年齢層の陽気な人びと。遊び心のある街の南側。ムア川を渡って数歩 — この川は、グラーツを分けるものです — 望ましいコントラストを提供します：グラーツが欧州文化首都となった

2003 年以来、ここには未来が宿っています：奇抜なクストハウス「フレンドリーなエイリアン」は、ご近所の古い家の間に居心地良さに住み着いて、明らかにここでくつろいでいます。グラーツの人びとは、その独特の美しさを持つこの建物を愛し、すでに新しい第二の街のランドマークと見なしています。川に浮かぶ貝殻が都市の両側を結んでいます：ムア川にある島です。

歴史的と現代的： ムーア川、行ったり来たり。

ヘレンガッセからハウプト広場に行き、そこから左へ、狭くて日陰のあるフランツィスカーナガッセを通過して、さらにフランツィスカーナ地区に向かいます。

23 ヨハネウム地区

ヨハネウム地区は、オーストリアで2番目に大きな博物館の中心であるばかりでなく、グラーツ市街地の重要な都市アクセントにもなっています。

24 フランツィスカーナ地区

フランツィスカーナ地区は、現在でも「ケルベルネ地区」と呼ばれています。この呼び方は、ここで商品を提供していた肉屋の何世紀にもわたる伝統に由来しています。現在、この地区は老若男女が集う場所となっており、風景や料理の中に南部の雰囲気を感じることができます。イタリア料理でもシュタイアーマルク料理でも、ここでは両方を見つけることができます。

25 フランシスコ会教会と修道院

時計塔と同じように、フランシスコ会教会の塔はグラーツの街並みを支配しています。この教会は、1239年にミノル派修道院として設立された市内最古の修道院に属しています。南西部、市壁の真上、戦略的に重要な場所に、托鉢修道会としては異例の巨大な塔が、17世紀に市政府の命令で市の塔として建てられました。ゴシック様式のホール教会であるマリア被昇天教区教会に、フランシスコ会修道院が隣接しています。

ヒント:25 フランシスコ会修道院

修道院の中を覗いてみると、ヤコビ礼拝堂に続くゴシック様式の回廊が感銘を与えるでしょう！都会の喧騒の真っ只中であって、静かで平穏な場所です。

26 ムーア-プロムナード(画像なし)

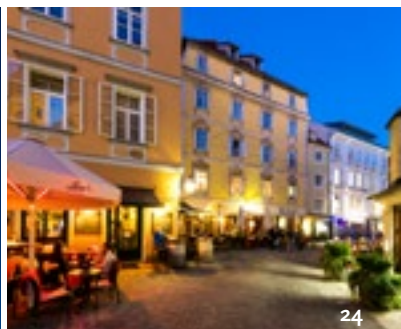
フランツィスカーナ広場からはヨハネス大公橋方向に数歩です。ここが「ムーア-プロムナード」への出口です。少し休憩して、疲れた足をムーア川でぶらぶらさせるのに最適な場所です。ムーア-プロムナードは、グラーツの住民に喜んで受け入れられている重要な地域レクリエーションエリアとなっています。



23



25



24



25

* グルメビールツアー - 5月～9月。試飲をしながら、「プフィフ」、「ザイトル」、「グラス」、「クリューゲル」の見分け方も学べる楽しいツアーです。

歴史的と現代的： ムーア川、行ったり来たり。

ヨハン大公橋を渡って川の対岸に向かうと、目の前に街の新しい第 2 のランドマーク、クストハウスが見えてきます。

27* クストハウス グラーツ 🏠

建築家ピーター・クックとコリン・フルニエがこの印象的な建物を計画し、2003年に建設されました。ムーア川のほりにある新しい建物とシュロスベルクの古い時計塔の間のエキサイティングな相互作用は、この都市の特徴となりつつあり、伝統と前衛の間の生産的な緊張関係を示しています。

クストハウスには、定期的に行われる展覧会(月曜定休!)、「Camera Austria」(写真展)、カフェがあります。

28 マリアヒルファー(聖母救済)広場

「芸術の集積地」として発展したティンフェルト宮(建築家協会とグラーツ芸術協会が入っています)を過ぎると、堂々としたマリアヒルファー教会、ミニリ派修道院、ミニリテン文化センターが特徴のマリアヒルファー広場に着きます。17世紀初頭に建設されたこの教会は、1742年に初めて、印象的な二重塔のファサードを備えることになりました。

ヒント:

ここからレント広場のファーマーズ市場や錠前&鍵の博物館までは、それほど遠くありません。

29 ムーアインゼル 🏠

水中の珍しいランドマークは、文化首都 2003 を機に建設された「ムーアインゼル」です。ニューヨークのアーティスト、ヴァイト・アコンチのデザインに基づいて、ここに浮遊するシェルを作り、2つの歩道橋でムーア川の兩岸をつないでいます。カフェと円形劇場を併設しています。

ヒント: グラーツカード (GRAZ CARD)

バス、電車、トラムで 24 時間、48 時間または 72 時間、グラーツを居心地の良い気分で探索し、多数の観光スポットを無料でご体験いただけます。グラーツカードは、グラーツを巡る発見ツアーの完璧なお供で、ご家族全員でのご旅行にも最適です。カード 1 枚について、15 歳未満のお子様 2 名はすべての特典を無料でお楽しみいただけます。



27



28



28



29

* 「ノズル」とは、クストハウスの特異な突起物の名称です。そのいくつかは光源として役立っています。

歴史的と現代的： ムーア川、行ったり来たり。

ムーア歩道橋を經由してザック通りとシュロスベルク広場に到着します。ここでは、シュロスベルクとシュロスベルク階段の美しい景色をお楽しみいただけます。

30 シュロスベルク広場

右手、シュロスベルクトンネルの入り口の隣には、文書に記載されている町最古の建物、13世紀のライナーホフがあり、かつてはライン修道院が所有していました。シュロスベルク階段は、グラーツのシュロスベルクを登る4つの方法のうちの1つです。第一次世界大戦中に捕虜が岩を切り出して作ったもので、もともとは260段あったそうです。

31 アッテムス宮殿

アッテムス宮殿は、その印象的な大きさによって1702年以来ザック通りの印象を形成してきました。1962年まで所有者だった家族は建物をほとんど変えなかったため、グラーツには、アッテムス宮殿によって、貴重な、元のままに保存されていたバロック様式の宮殿が残されているのです。(敷地内は非公開です。)

32* グラーツ市立博物館

グラーツ市立博物館はグラーツ市の文化史博物館であり、そのコレクションと展示は都市の歴史と現在の両方に取り組んでおります。多様性、ジェンダー史、都市開発だけでなく、建築、宗教、芸術、文化などのトピックにも焦点を当てています。

33 歴史(宮廷)博物館

文化史コレクションの多様性の全貌。
新しい展示場は、中世盛期以降のシュタイアーマルク州の文化的エポックを記録するために、19世紀に設立されたコレクションの豊さを展示しています。現在、コレクションは35,000を超えるオブジェクトを含んでいます。楽器、家具、婦人服、紳士服、子供服、勲章、メダル、型紙、カーペット、タイル、胸像、錠前、燭台、墓誌、酒器、花瓶など、約2,000点が、おおよそ450㎡の敷地に緻密なコラージュとして展示されています。



* グラーツ市立博物館の展示「360 GRAZ - 都市の歴史」では、グラーツの都市史を、地元とヨーロッパの視点から、これも360度のデジタル形式で説明しております。

。 grazmuseum.at.

歴史的と現代的： ムーア川、行ったり来たり。

ザック通りをさらにグラーツのハウプト広場の方向に歩き続け、アンティークショップやジャンクショップを通り過ぎると、市庁舎が目の前にあります。

34 ザック通り(画像なし)

ザック通り — ハウプト広場からヘレンガッセの延長部分 — は、グラーツのアートマイルです。シュロスベルクケーブルカーまでのここには、アンティークショップ、ギャラリー、ジュエリーショップ、ワークショップ、美術館&アトリエ、モダンアートとアンティークアート、民芸品、手工芸品を扱う工房があります。魅力的な雰囲気と伝統的な商業が一つになって、アートマイルに特別な魅力を与えています。

35 KASTNER & ÖHLER

グラーツの真打ちと言える施設は、伝統的かつ超近代的なデパート、Kastner & Öhler です：オーストリアで最も美しいデパートであり、すでに国際的に賞を受賞しているこのデパートでは、6フロア、20,000 m²を超えるオーストリア最大のファッションセレクションを提供しています！7階の屋上テラスからは、近くのシュロスベルクと街の赤い屋根の、信じられないほど素晴らしい景観を眺めることができます。スカイウォークでは、街の上空に浮かんでいるようなもので、時計塔は「触れられるほど近く」にあります。

36 シュロスベルクケーブルカー(画像 31 ページ)

忘れてはならないのが、ザック通りの反対側にあるシュロスベルクケーブルカーです：素晴らしい景観と61%以上の傾斜を楽しみながら、グラーツの真ん中にある山、街のランドマークである時計塔のあるグラーツシュロスベルクを登ります。

ヒント：シュロスベルクエレベータ(画像 37 ページ)

シュロスベルクに登るには、あまりお目にかからない、速く、同時に快適な方法として、シュロスベルクエレベータがあります。山の内部に組み込まれたエレベータという見た目にも美しいソリューションは、急いでいるときや徒歩が苦手な場合に非常に便利です。エレベータのガラス張りのキャビンは、乗車中にライトアップされた岩の構造を眺めることができます。

次のツアーはシュロスベルクに特化しています。

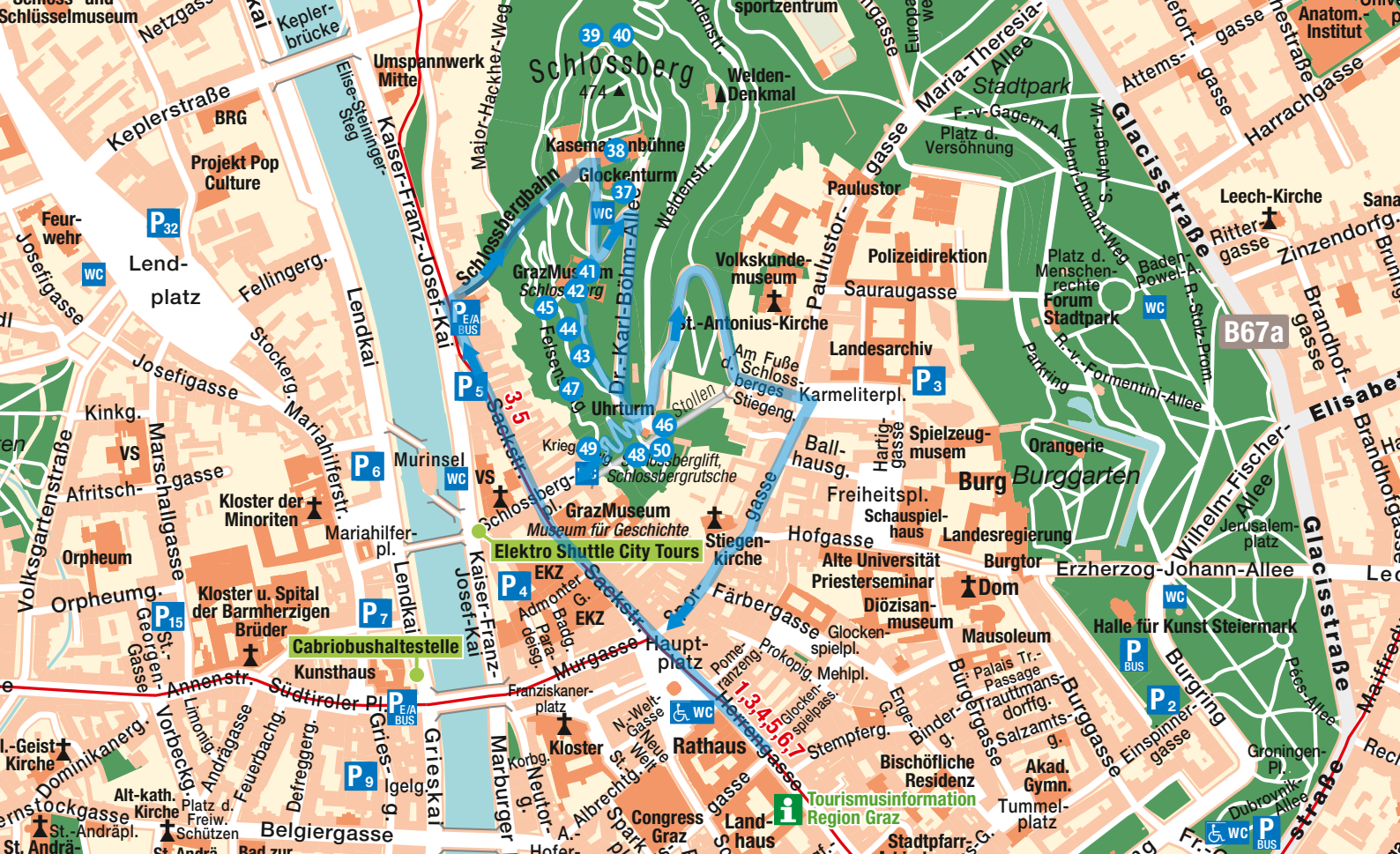


オーストリアで 最も美しいファ ッションハウス

Sackstrasse 7-13, 8010 Graz (ハウプト広場近く)
月～金 9:30 - 18:30 | 土 9:30 - 18:00

ご自宅でもご覧いただけます！

WWW.KASTNER-OEHLER.AT



グラーツシュロスベルク： 街の屋根の上で。

第 3 の街歩きでは、シュロスベルクに出かけます。グラーツ旧市街の赤い屋根の絶景をお楽しみください。

グラーツ以外の都市で、旧市街の真ん中にハイキングに適した緑豊かな — かつ素晴らしい — 山があることを誇ることはどこでしょうか？シュロスベルクです。この山は人びとを魅了します：春は新緑と太陽の光で、夏は木陰と野外パフォーマンスで、秋は燃えるような色彩で、冬は街の灰色から逃れることができます。

頂上に着くと、多くの発見があり、壮大な景色を楽しむことができます：赤瓦の屋根の風景、周囲の丘や山です。恋人になったばかりの人は、このようなことはあまり気にしませんが、この広場は今でもロマンティックな出会いの場としてナンバーワンと言われています。ここは、十分に一见する価値はあります：グラーツの時計台だけでも好奇心をそそられます。短針と長針が通常とは逆に入れ替っているため、一部の訪問者が時計を比較する混乱を引き起こしました。

グラーツシュロスベルク： 街の屋根の上で。

高さ 473 m のシュロスベルクに行くには、非常に人気のある 4 つの選択肢があります：シュロスベルクケーブルカー、山中のガラス張りエレベータ、シュロスベルク階段経由またはカルメリッダー広場経由の徒歩です。

シュロスベルクにて

1,000 年以上前、この岩場に立っていた小さな城が、街の名前の由来となりました。「小さな城」を意味するスラブ系のグラデック (Gradec 砦) が後にグラーツになりました。1544 年、ドメニコ・デッラリオの設計により、ルネサンス様式の強大な要塞に拡張されました。この城は、史上最強の要塞としてギネスブックに登録されています。ナポレオンであっても、19 世紀の初頭、征服することができませんでした。1809 年にナポレオンがウィーンを占領し、首都を破壊すると脅したときに初めて、グラーツは降伏し、ほぼすべての要塞が破壊されました。鐘楼と時計塔だけが残ったのは、グラーツの人びとが買い取り、破壊を免れたためです。

37* 鐘楼

シュロスベルクで最初に訪れるのは、1588 年に建てられた、グラーツで最も有名な鐘「リースル」を持つ鐘楼です。この呼び方が初期のエリーザベト礼拝堂に由来するのか、それとも「地下牢」という言葉に由来するのかは不明で不明です (地下室には要塞の中で最も残酷な牢獄がありました)。この鐘の重さはおおよそ 5 トンあり、2 人の鍛冶屋が独自の鳴動機構を苦勞して組み立てた後で初めて動かすことができました。

38 カゼマッテンビューネ

カゼマッテが何であるか、ご存知ですか？砲室は、かつて囚人の寝床を兼ねた貯蔵庫でした。今日では、カゼマッテンビューネは、華やかなオペラやコンサートの舞台として雰囲気のある背景となっています。小さな道を進むと、山頂の台地とゴシック様式の城門にいたります。



36



37



38

* 「リースル」は 1587 年にトルコの砲弾 101 発から鑄造されたもので 7 時、12 時、19 時の 1 日 3 回、同じ頻度で鳴ります。

グラーツシュロスベルク： 街の屋根の上で。

シュロスベルクは、広大な小道ネットワークが張り巡らされています。観光スポットのひとつひとつには、それほど苦労せずに歩いて行けます。

39 ゴシック門(画像なし)

1982年に再発見されたこの城門は、「ヒンターレン ツヴィンガー城」から中世の城の内部に通じており、「ヒンターレ門」と呼ばれていました。中世にここにあったのは、2つのアーチ道を備えた銃眼付きの門塔であり、そのうちの外側のアーチ道は現在でも非常に良く保存されています。1894年、この台地は展望台として整備されました。ゴシック様式の門は1998年から2001年にかけて再発掘され、一般公開されました。

40 ハッカー-ライオン

ハッカー-ライオンは、グラーツ城を守備する最後の軍人、フランツ クサーパー フライヘル フォン ハッカー少佐を記念しています。ハッカー少佐は1809年、「わずかな兵士とともに」圧倒的なフランス軍の優勢な軍隊による数か月にわたる包囲に耐えました。ハッカー少佐の肖像画がなかったため、その名誉のためにライオン像が建てられました。山頂台地の真ん中には大きな貯水池があります。16世紀に建てられたもので、90万リットルの容量があります。

41 グラーツ博物館シュロスベルク

新しいグラーツ博物館シュロスベルクは、グラーツの街山の歴史への扉を開きます。年中無休で、一部は野外博物館となっており、シュロスベルクに滞在するすべてのお客様が最初にお立ち寄りになる場所です。グラーツ博物館シュロスベルクでは、来館者は歴史のおよび地形的な観点から情報とオリエンテーションを受けられます。このご家族向けの新しい博物館は、シュロスベルクの歴史とグラーツにとってのその重要性を現代的な方法で紹介しております。

42 カノーネンホール

グラーツ博物館シュロスベルクにあるカノーネンホールには、4基の大砲があり、グラーツ消防署の所在地として大砲砦の古い機能を思い出させます。



グラーツシュロスベルク： 街の屋根の上で。

シュロスベルクでは、他の名所を通り過ぎて、グラーツのランドマークの方向に気分良く向かいます。

43 中国パビリオン

中国パビリオンは 1890 年頃に建てられたもので、古いロマンティックなワインアーチに代わるものです。風化した文字とゴシック様式のブラインド網目模様が背面に描かれた石のベンチは「司教の椅子」と呼ばれています。伝説によれば、40 年間の投獄の後にシュロスベルクの地下牢から釈放された司教のナダスディ伯爵が 1796 年にここで亡くなったからです。

ヒント:44 トルコの井戸

1554 年から 1558 年にかけて、この「深井戸」は、長期にわたる包囲中でも要塞に十分な水を供給できるように、ムーア川の地下水まで 94 メートル掘られました。この井戸が現在の名前になったのは 19 世紀になってからのことで、その発掘には投獄されていたトルコ人が関わっていたからだとされています。

45 シュタルケ-ハウス

1575 年にシュタルク砦のふもとに火薬塔が建設されましたが、1809 年、フランス軍によって破壊されました。この跡地にワイン生産者の家が建てられ、下のテラスにはブドウの木が植えられました。宮廷俳優のグスタフ・シュタルケが住んでいたことから、この名前が付けられました。現在、ここにはレストランがあり、そのテラスからはグラーツの素晴らしい景色を眺めることができます。

46* 時計塔

そして最後に、街の伝統的なランドマークである時計塔にたどり着きます。高さ 28 メートルの塔の時計仕掛けは 1712 年以来、正確に時を刻み続けていますが、グラーツのロマンチックなランドマークの下では、素晴らしい街の景色を眺めながら時間を忘れることができます。もともと中世の要塞であった塔は、1560 年頃に現在の形にまりました。同じく、消防署の特徴的な木製の歩道。時計塔からは 3 つの鐘が鳴り響き、壁には 3 つの紋章が飾られています。



43



44



45



46

* グラーツでは時計の針が違うのでしょうか？いいえ。もともと時計は大きな針しかなく、分針が後から追加されたため、針が入れ替わってしまったのが事実です。

グラーツシュロスベルク： 街の屋根の上で。

シュロスベルクをめぐるには、多くの物語があります。
ひとつだけ言えることは、グラーツには多くの若者がいるということ
です。ここでファーストキスが…

47 旧市街への帰り道／フェルゼンシュタイク

旧市街への帰り道には、いくつかの選択肢があります：山中のスペクタ
クルなガラス張りエレベータで快適に、シュロスベルク滑り台で高速で、
またはシュポールガッセ方向のカルメリッター広場への遊歩道で、おそ
らく最もロマンチックな道は、魅力的なヘーバーシュタイン庭園を通り、
シュロスベルク階段の 260 段を越えるルートです。

48 ヘーバーシュタイン庭園

1930年にヘーバーシュタイン庭園が「クリグスシュタイグ」から入れ
るようになり、これによって「グラーツの空中庭園」が一般に公開され
るようになりました。地中海の植物（イチジク、レモン、イチョウ、藤など）を
配したテラス群は、戦間期の庭園建築の中でも最も美しいもののひと
つです。

49 山中トンネルシステム (画像なし)

第二次世界大戦中、山の内部に広大なトンネルシステムが建設され、最
大 40,000 人が避難できる防空壕として機能しました。これらのトンネ
ルのいくつかは現在でも使用されています。例えば、シュロスベルク広場
からカルメリッター広場まで山を越える歩道として、あるいは山中の「ガ
ラス張りエレベータ」や地下イベントホール「ドン・イム・ベルク」へのア
クセスとしてです。シュロスベルクにあるグラーツメルヘン鉄道も、旧ト
ンネルシステムの一部を使用しています。

50 シュロスベルク滑り台& THE FLIGHT GRAZ 4D 体験シネマ

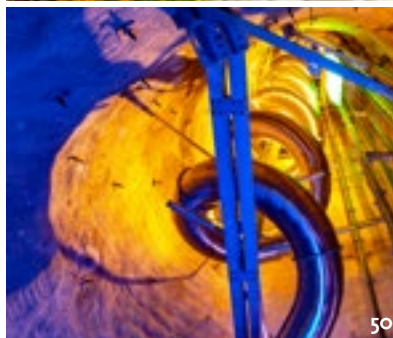
「シュロスベルク滑り台」は、世界一高い 64m の地下滑り台です。
175 m を約 40 秒かけて交互にカーブしながら下るこのコースは、老若
男女を問わず特別な体験をご提供いたしております。「The Flight Graz
4D」体験シネマでは、訪問者は飛行の視点から市内の 25 以上の観光
スポットへの、エキサイティングなドローン飛行に連れ出されます。動く
「フルモーション」チェアや、風、霧、シャボン玉、水などの効果により、
これまでにないグラーツをご体験いただけます。



47



48



50



50

シュロスベルクレストラン

市街を見下ろす高さから一流の美味をお楽しみください：シュロスベル
クレストランは、グラーツの人たちだけでなく、多くの人々が出会う人気
スポットです。

4D 体験シネマ グラーツ飛行 五感で体験



世界
最大の
地下
滑り台

schlossberggrutsche.at
slidegraz.com

グラーツカード



グラーツを 24 時間、48 時間または
72 時間、探索してください。

バス、電車、Bim (トラム) で最高に居心地
良く、多数の観光スポットを無料でご体験
いただけます。

2023 年 4 月からは、さらに博物館および
観光スポットでの割引特典 が追加され
ます。

ご家族に最適: カード 1 枚について、
15 歳未満のお子様 2 名はすべての特典
を無料で楽しみいただけます。

graz-card.com

グラーツ
カード

24 時間
48 時間
72 時間

公共交通機関、
博物館、
シュロスベルク
その他...

GRAZ

中心部以外の価値ある目的地。

グラーツ旧市街からほんの数分のところに、旧市街以外のさまざまな街の美しさがあります。

51* エッゲンベルク城🏰

ヨハン・ウルリッヒ・フォン・エッゲンベルク侯は、1625年、宇宙を象徴する城を建設しました：4つの塔は季節を、12の門は月を、365の窓は日を象徴しています。この宮殿は、ヨアヌム万国博物館の一部であり、大広間に加えて、アルテギャラリー、コインキャビネット、壮大な惑星庭園、美しい宮殿公園があります。エッゲンベルク城は世界遺産です。
📌**ご注意：季節による 営業時間!**(トラム 1 号線、エッゲンベルク城停留所)

52 マリアトロスト・バシリカ教会

1714年、建築家アンドレアスとヨハン・ゲオルク・シュテンクがパウロ会教父の依頼で建てたと推測されるバシリカです。このバシリカの中心は聖母マリア像で、その奇跡的な行為は広く語り継がれ、17世紀にはすでに多くの巡礼者を魅了していました。(トラム 1 号線、終点マリアトロスト)

53 グラーツの大学

約 60,000 名の学生が、市内の 4 つの総合大学、2 つの専門大学、2 つの教育大学で学んでいます。最も伝統的なのがカール・フランツェンス大学で、19 世紀末から 1 つのキャンパスで教育をしています。工業大学からは世界的に有名な建築家が誕生し、現在も活躍しておりますし、グラーツ芸術大学はヨーロッパで最も古いジャズ学科を擁しております。

54 植物園、温室

グラーツのシューベルト通りの別荘地では、アクリルガラスでできた 3 つの放物線状の交差しています。その理想的な向きにより、4 つの異なる気候帯の植物が屋内で豊かに成長することが可能です。(トラム 1 号線、ヒルムタイヒ / 植物園停留所)

55 ヒルムタイヒ(公園) / レーヒヴァルト(公園) (画像なし)

どのアクティビティがお好きですか？ロマンチックな船旅？アドベンチャーパークで格好いいクライミング体験？それとも、ランニングシューズで森の小径を探索してみたいでしょうか？ヒルムタイヒと隣接するレーヒヴァルトはともに、さまざまな冒険の機会を提供いたします。(トラム 1 号線、ヒルムタイヒ停留所)



51



52



54



53

* もしかするとエッゲンベルク宮殿にお聞き覚えがあるかもしれませんがね。ドイツ語圏の映画では、映画のセットとして何度も使用されています。

中心部以外の価値ある目的地。

近代建築、神聖な芸術、中世の遺跡：これらに共通するのは、ゆったりと深呼吸をするのに相応しい平穏な環境です。

56 レーヒ教会(画像なし)

レーヒ教会はグラーツ最古のマリア教会であり、オーストリアで最も貴重な初期ゴシック建築の1つです。特に聖歌隊のステンドグラスは一見に値します。(バス路線 31、ツインツェンドルフガッセ停留所)

57 ゲシュティンク城址(画像なし)

中世に栄えたこの城は、17世紀の火災で荒廃し、現在は城内の礼拝堂と望楼が残るのみです。(バス路線 40、終点ゲシュティンク、+徒歩 20分、現在閉鎖中!)

58 カルヴァリエンベルク

十字架の道を歩みつつ、それでもなお正しい — それが、街の中心からすぐのところ、アウシュタインにあるグラーツのカルヴァリエンベルクを訪れたときのあなたです。ここに、キリストの受難を野外で表現した最も重要で最大の描出があります。(トラム 1、3、6、7号線でローゼゲッター停留所まで、バス路線 67に乗り換えてシッピンガー通り停留所まで)

59 シェルコレクション - 錠前&鍵の博物館

幸福への鍵 - ここで見つけられますか? 錠前、鍵、棺、棺桶、鉄に関する芸術鑄造のオーストリアの博物館であり、同時に世界最大の特別博物館であるシェルコレクションは、何でもありなところが何と言っても魅力的です。(バス路線 40、ツアイラーガッセ停留所)

60 NOVA-AIR

世界でも類を見ない — 1つの屋根に2機の飛行機! ボーイング 727-200は「レストラン・ボーイング」として運行されており、細部までご覧いただけます。2機目はロシアのイリュージョン Il-62Mで、「80年代バー&レストラン」です。高級ドリンクやグラーツのシュロスベルクを望むテラスに加え、この飛行機は訪問者のために「コックピットドア」を開放しております。入場無料! (バス路線 40、52、67、敷地内に駐車場あり)